

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 590 号	氏名	山下 裕
学 位 審 査 委 員	主 査	小路 武彦	
	副 査	前村 浩二	
	副 査	柳原 克紀	
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、慢性腎臓病（CKD）を有さない集団に於けるシスタチン C（CysC）の血清レベルと動脈硬化との関連を調べるものであり、研究目的として妥当である。			
2 研究手法に関する評価 本研究では、五島地区健診受診者のうち、CKD 患者及び心血管疾患を有する患者を除外した 446 人（男性 177 人、女性 269 人）を対象とした。CysC は患者血清を用いてラテックス免疫比濁法で測定し、動脈硬化の指標として cardio-ankle vascular index（CAVI）及び carotid intima-media thickness（CIMT）を用いた。その他健診の基本項目の測定や問診内容も適切であり、また統計的な解析方法も含め研究手法は妥当である。			
3 解析・考察の評価 以上の検討の結果、単回帰分析では男女共に CysC は CAVI と有意な相関を示したが、CIMT との有意な相関は男性のみであった。重回帰分析でも、女性に於いて CysC と CAVI との間に有意な相関を認めた点、これらの解析結果と考察内容は高く評価できる。			
以上のように、本論文は CysC に注目した動脈硬化予測法の開発に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。			